

ティーチング・ステートメント

所属 全学共通教育部
名前 青山 和弘
作成日 2024年2月26日

【責任】

全学共通教育部に所属し、教職課程を中心とした教育・研究活動を行っている。主たる教育活動は教職に関する科目（教育課程論、教育制度と学校経営、教育実習生徒指導・進路指導論、教育相談）、加えて4月からSDGs科目「環境と人権」を担当することになる。また、教職課程を履修する学生のキャリア支援を行っている。

【理念】

教職課程の履修を通して、明日を担う生徒（高校生）たちが自立し、ともに支え合う共生の精神をもって、変化の激しい時代をたくましく生きていくことができるよう、生徒一人一人がもつ力に光をあて、その力を最大限に引き出す教育を進めていくことができるような資質能力を学生に身に付けさせたい。

そのために、「教育者」として強い使命感・倫理観と、生徒への深い教育的愛情を常にもち続ける教員を育成したい。更には、「社会人」として自らの役割を自覚し、その役割を果たしつつ、自分らしい生き方を歩むことのできる人間を育成したい。

【方針・方法】

上記の【理念】を実現するために、次の教育方針・方法を取り入れている。

方針1 学びを支える基盤としての基本的な姿勢や規律の確立

- ・出席を厳格にとること
- ・ワークシート等の提出物の提出期限を厳守させるとともに、期限等に遅れる場合などでの事前連絡を徹底させること

方針2 教職課程を学ぶ意義の理解の重視

- ・初回の講義においてシラバスの内容を説明したり、中間の時期（8回目の講義）に再度シラバスを使用して科目の目標と内容等を確認させたりするなどして、各科目の目的（ねらい）を常に認識させること
- ・各科目の目標（①知識・技能、②能力・態度）を認識させること

方針3 授業の質の向上

1回（ひとコマ）の授業は、教師が作成したワークシート（授業内容を確認する内容の問題への解答と、文献や資料を読んで内容をまとめたり、自分の考えをまとめて表現したりするもの）を活用して授業を行い、その概要とねらいは次のとおりである。

- ・授業の導入部前時の振り返りを行い、前時のワークシートを返却するとともに、学習の到達度を確認させること
- ・本時の授業の目標（ゴール）と学習内容の主な内容を提示し見通しをもたせること
- ・授業の展開部では学習内容の説明・板書、質疑応答を行うこと
- ・適宜、ペアワーク、グループ協議、発表に取り組みさせること
- ・授業のまとめでは、ワークシートに取り組みさせるが、その際、その目標と評価規準を明示すること
- ・授業のまとめでは、ワークシートに取り組みさせること

方針4 授業内容の不断の改善・充実

- ・学習指導要領の改訂や中央教育審議会の答申など、国（文部科学省）の動向を踏まえ、各科目の毎年度の授業内容の更新や充実を図ること
- ・教育関係の研究成果や教育雑誌の話題、新聞等で報道される教育に関する時事問題等の教育情報を活用して毎年度の授業内容の改善・充実を図ること

方針5 高校と大学との連携の充実

- ・教育実習受入校を訪問し、高校の実態把握と教育実習の課題等についての協議を行い、高校と協力して教育実習の円滑な実施や実習内容の充実のための方策を検討すること

方針6 教職課程を履修する学生に対する指導・支援の充実

- ・「履修カルテ」（学生が教職科目や基本教育科目、専門科目等の履修状況の確認や学びのリフレクション、自己評価を行うもの）をもとに、教員に必要とされる資質・能力などと今後の履修の見通し、進路希望の確認に関する個人面談（年2回）を実施すること
- ・「履修カルテ」に関する面談以外に、適宜、学生一人一人の状況に応じた個人面談を実施すること
- ・教員免許状の取得を目指していることを踏まえ、一定水準の教科指導の前提となる専門性が求められることから、教育実習を行うための条件として GPA-T の基準を設定した。この基準を基に、学生の専門科目の学修の充実を図るよう支援すること
- ・教員採用選考検査を受検する学生に対する支援を行うこと
- ・卒業後に教員を目指す学生に対する支援を行うこと

【成果・評価】

- ・授業評価アンケートでは、おおむね良好な評価となっている。
- ・4年生及び卒業生において、教員採用選考検査（北海道）や私立高校で合格者が出ている。

【目標】（「・」は長期目標、「→」は短期目標）

- ・教職課程の履修を途中で諦めさせない支援を充実させる。
 - ガイダンスの充実を図るとともに、教職課程を学ぶ意義等を常に意識させる（2024年度）
 - 授業の目標（身に付けたい知識・技能や資質能力）と評価規準を適切に設定して明示するとともに、ワークシート等によりの確に評価し、フィードバックする（2024年度）
 - 関係学科の教育課程委員会委員（各学科教員）との連携を深め、教員として求められる専門分野の力量を高める支援を行う（2024年度）
- ・高校との連携により、「教育実習」を充実させる。
 - 教育実習受入校との顔の見える関係づくりにより、信頼関係を構築する（2024年度）
 - 教育実習の円滑な実施のための意思疎通と情報交換を綿密に行う（2024年度）
- ・教職課程を履修する学生の進路希望を実現させる
 - 教員希望者に対する情報提供と支援を行う（2024年度）
 - 卒業後の教員希望者に対する情報提供と支援を行う（当該学生が卒業した後の期間も含む）（2024年度）